



建築科建築コースが校外研修に行きました！

7月26日、建築科建築コース1年生が校外研修を行いました。午前中は新潟県職業能力開発短期大学校で非常勤講師をされている村尾欣一様より、シオンが丘キリスト教教会と新潟県森林組合連会の越後杉流通活性化センターの紹介をしていただきました。午後は長岡造形大学にて学校紹介と山下秀之教授による模擬授業を体験しました。実際に活用されている建築物にふれ、大学を見学することで生徒にも様々な発見がありました。



村尾先生から、斑鳩建築と共に行った仕事の紹介をしていただきました。「大工が主役の建築」という言葉が生徒の印象に残りました。



釘などの金物を一切使わず、大工の手作業により組み立てられた屋根の骨組み。興味深く観察していました。

【スキルアップシートより】

村尾先生のお話は、自分が大工になるための手本や参考になるものだった。

曲がった木を建築物に使うと聞いて、ふだん使わない物にも注目しようと思った。

長岡造形大で聞いた講演が今後に生かせると思った。外国へ行った学生はみんなそれぞれが夢や目標を持っていた。そしてそれを達成するために日々努力をしていた。常に夢や目標を持って生きていくことはすごく大切だと思った。

【生徒の変容と身についた力】

- ・木材を使用した建築物の素晴らしさを、実際に見学することで体感することができた。
- ・デザインの多様さを知ることによって、今後の建築の学習に生かせる素養が養われた。
- ・大工、大学と進路選択における幅が広がった。